

2022年6月10日

各位

SMFL 未来パートナーズ株式会社  
三井住友ファイナンス&リース株式会社

### 「NEWNO・SOSiLA 高槻」の着工について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橋 正喜、以下「SMFL」）の戦略子会社、SMFL 未来パートナーズ株式会社（代表取締役社長：寺田 達朗、以下「SMFL 未来パートナーズ」）は、住友商事株式会社（代表取締役 社長執行役員 CEO：兵頭 誠之、以下「住友商事」）と大阪府高槻市で初の共同物流施設事業であるマルチ型物流施設「NEWNO・SOSiLA 高槻」を2022年6月10日に着工したことをお知らせします。

#### 「NEWNO・SOSiLA 高槻」について

本物流施設の建設地である高槻市は、大阪、京都の2大都市の中間に位置し、地理的優位性から近年では物流の要衝としても注目されています。新名神・名神高速道路「高槻IC」から約4.8km、名神高速道路「茨木IC」から約6.8kmと広域配送に適し、最寄駅からバス通勤も可能で従業員確保においても優れた立地に位置しています。当地での物流施設開発への期待も大きく、本敷地を最も有効活用できるボックス型の物流施設の建設を計画いたしました。

建設する建物は延床面積8,793坪、地上4階建（倉庫部分3階建）、有効天井高さは全フロア6.5mで、パレット4層積に対応、2・3階は床荷重2.0t/m<sup>2</sup>で紙・飲料などの重量物の保管にも適した仕様となっており、2テナントへの分割貸しが可能です。2023年5月の竣工を予定しています。

SMFL 未来パートナーズが展開する不動産ブランド「NEWNO」は「Make a New Normal（未来のあたりまえをつくる）」をコンセプトに2021年7月に事業を立ち上げ、これまでに4物件を展開しています。本物流施設は、住友商事が開発する「SOSiLA」ブランドとの共同事業として「NEWNO」初の物流施設アセットの取り組みになります。

住友商事が開発する物流施設「SOSiLA」シリーズは、語源である Sociability（社会とのつながり）・Sustainability（環境への配慮・持続的成長）・Individuality（人と労働環境への配慮）の3つをコンセプトとし、「人と社会をつなぐ物流施設」の実現を目指して開発を進めています。竣工済物件は全国で計14棟におよび、今後も首都圏・関西圏を中心に全国で「SOSiLA」の開発が予定されています。

SMFL みらいパートナーズは、今般の住友商事との物流施設分野における第一号の共同事業案件である「NEWNO・SOSiLA 高槻」の取り組みを契機に、今後も両社のシナジーを生み出す協業を推進してまいります。

[建物概要]

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 名称    | NEWNO・SOSiLA 高槻 |
| 所在地   | 大阪府高槻市南庄所町      |
| 延床面積  | 8,793.2 坪       |
| 構造／階数 | 鉄骨造／4 階建        |
| 着工年月  | 2022 年 6 月      |
| 竣工年月  | 2023 年 5 月（予定）  |

[外観イメージ-NEWNO・SOSiLA 高槻]



[地図イメージ-NEWNO・SOSiLA 高槻]



以上

【お問い合わせ先】

|                    |         |    |                  |
|--------------------|---------|----|------------------|
| SMFL みらいパートナーズ株式会社 | 不動産統括部  | 平井 | TEL 03-5219-6746 |
| 三井住友ファイナンス&リース株式会社 | 広報 IR 部 | 山本 | TEL 03-5219-6334 |